

えひめの歴史文化モノ語り

県歴博収蔵資料から③③

「みどり丸」と「すみれ丸」の2隻が、大阪商船の就航記念ポスターである。この2隻は、大阪商船の就航記念ポスターである。この2隻は、大阪商船の就航記念ポスターである。

1928（昭和3）年に就航していた姉妹船だ。今、みどり丸、翌年にすみれ丸

瀬戸内海つなぐ姉妹船

が就航し、瀬戸内海をつなぐ姉妹船としてデビューした。2隻が就航する以前は「瀬戸内海の女王」と称される「紅丸」と「紫丸」がこの航路で活躍していたが、観光ブームや豪華客船の需要が増えたこともあり、増便され昼夜2便の運航が可能となったのである。

昭和初期の観光ブームを支えた姉妹船は、瀬戸内海の風光明媚（めいび）な風景を居ながらに満喫できる豪華客船として人気を博した。特にすみれ丸は35（昭和10）年に、第21回全国中等学校野球大会で初優勝した松山商業の生徒が、愛媛へ帰る際に使用したという。愛媛の人々にとっても大阪商船の船は身近なものであった。

（学芸員・甲斐末希子）

ポスターは、県歴史文化博物館（西予市）で開かれているテーマ展「愛媛の近代都市く松山・今治・宇和島を中心く」で来年1月27日まで展示中。

〈月2回掲載します〉



みどり丸・すみれ丸

大阪別府航路の姉妹船として昭和初期に就航した「みどり丸」(左)と「すみれ丸」のポスター

1928、29年(左)、県歴史文化博物館蔵

2枚のポスターに共通するのは、観光客の誘致を別